

# 屋外吸音工事 A-111工法

コンクリートの壁に囲まれている場所に空調室外機やクーリングタワーを設置した場合、遠ざかる側に放出された騒音も壁面で反射し、その空間の騒音レベルを引き上げてしまいます。

この反射音を防ぐための吸音工事がA-111工法です。屋外での使用を前提とし、耐候性の高い部材で構成されています。吸音材に「フローティングウール P.29」を使用し、更にパンチングメタルで保護することにより長期間の耐用年数があります。ダクトや梁・柱などの障害物も現場加工で対応が可能で、吸音パネルで必要となる寸法確認の煩わしさがありません。



## ■ 特徴

**優れた意匠：**A-111工法は、吸音パネルとして従来から定評のある吸音パネルデュラカムAP-50を現場施工式に改良した屋外吸音工法です。

背後に空気層を設けて施工する工法や、吸音材厚みを増やす事により更に吸音性能を上げることが可能です。

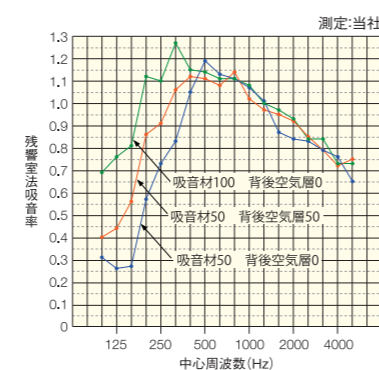
**優れた耐候性：**吸音材に「フローティングウール P.29」を使用していますので屋外にて、長年にわたって吸音率の低下、材質の劣化は心配ありません。また見切材、目地材は加工性に優れたアルミ型材を使用しています。

**優れた施工性：**現場にて吸音材、見切材、目地材、表面保護材を加工できますので、柱・梁、ダクトやステーなどの障害物も、その場で対応が出来ます。事前に採寸して、工場加工をする手間が省けます。

## ■ 用途

- 清掃工場・リサイクルセンターなどの蒸気復水器周辺の壁の吸音工事
- ダクト、柱、梁などの障害物が多い現場

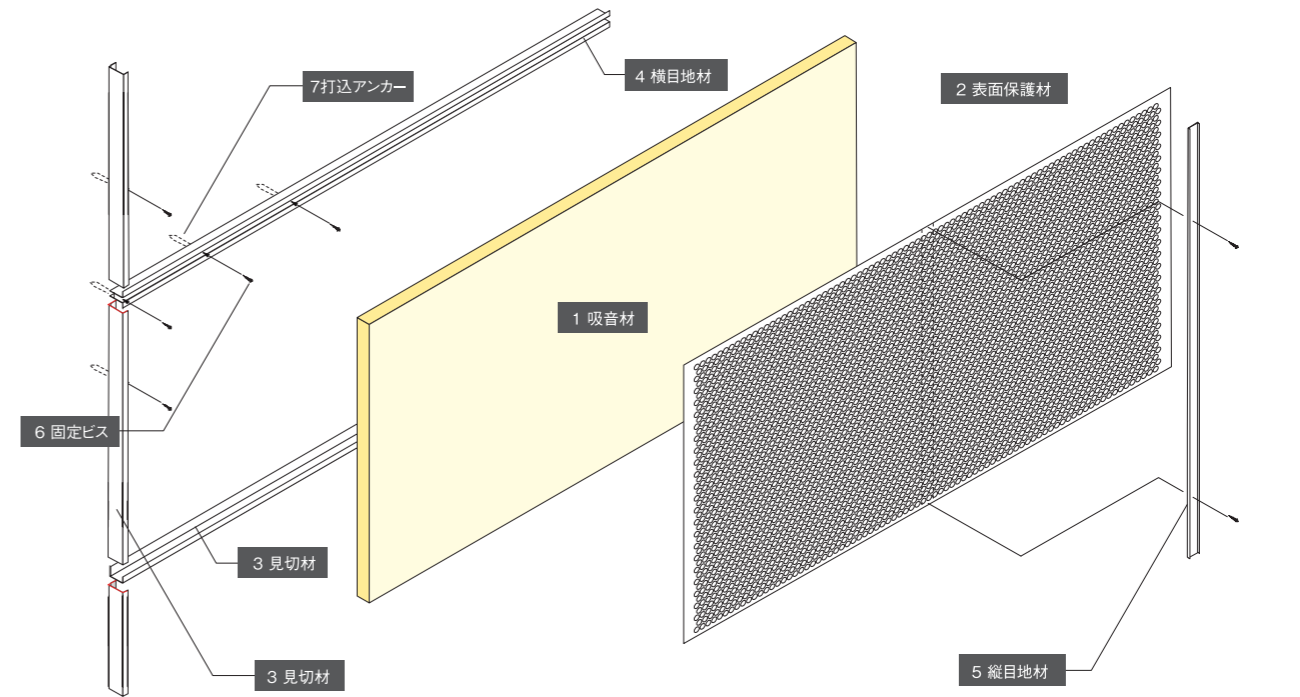
## ■ 音響性能



### ご注意事項

高耐食性めっき鋼板は時間経過により表面が部分的に黒く変色することがあります。(黒変現象)

## ■ 構造



名称	寸法	材質
1 吸音材	980×2000	フローティングウール 32kg/m <sup>3</sup> 撥水ガラスクロス平貼50t/100t
2 表面保護材	980×2000	パンチングメタル(高耐食性めっき鋼板0.4t)
3 見切材	∟20×55×35×1.2t	標準 L=4000 アルミ型材加工品 JIS H4100 A6063S アルマイトクリア
4 横目地材	〒60×52.4×1.2t	標準 L=4000 アルミ型材加工品 JIS H4100 A6063S アルマイトクリア
5 縦目地材	└ 45×8×2.0t	標準 L=4000 アルミ型材加工品 JIS H4100 A6063S アルマイトクリア
6 固定ビス	φ4×16	SUSドリルネジ
7 打込アンカー	下地材質より引抜強度を考慮し決定する	SUSビスアンカー

## ■ 施工方法

※音響性能を発揮するために当社で施工を行います。

- ① 割付基準に従い、見切縁(コ型材)及び吸音材割付墨を墨出しします。
- ② 見切縁を取付けます。
- ③ 横目地材(ハット型)を取付けます。(アルミは伸縮を考え、3~5mm離れでジョイントします)
- ④ 吸音材、表面保護材(パンチングメタル)を取付けます。
- ⑤ ①②に記載のある『見切縁(コ型材)』を上の上にある『見切材(コ型材)』に合わせます。  
縦目地材(フラットバー)を横目地材に固定ビスで取付けます。

## ■ 施工例

